

正射影でござる

まつだ やすお
松田 康雄

1. はじめに

2つのベクトル \vec{a} と \vec{b} の内積の定義は、 \vec{a} と \vec{b} のなす角を θ ($0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$)としたとき

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \theta \quad \dots (1)$$

である。また、成分で考えたとき、 $\vec{a} = (x_1, y_1)$ 、 $\vec{b} = (x_2, y_2)$ ならば

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = x_1 x_2 + y_1 y_2 \quad \dots (2)$$

である。さてここで、 \vec{b} の、 \vec{a} 方向への正射影ベクトル、すなわち \vec{b} の始点と終点を、 \vec{a} を通る直線の上に下ろした垂線の足をそれぞれ始点と終点とするベクトルを考えてみる。

この正射影ベクトルの大きさは、 \vec{a} と \vec{b} のなす角を θ とすれば、 $|\vec{b}| |\cos \theta|$ なので、 \vec{a} と \vec{b} の内積は、

\vec{a} の大きさ $|\vec{a}|$ と、 \vec{b} の \vec{a} 方向への正射影ベクトルの大きさの積である。ただし、 \vec{b} の正射影ベクトルが \vec{a} と反対向きなら、積の値はマイナスとみなす。…… (3)

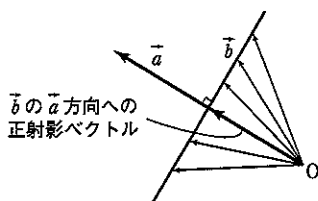
とも定義できる。本稿は、この定義(3)をもとにして、図形の方程式などを見直したものである。

2. 直線のベクトル方程式

法線ベクトルが $\vec{a} = (x_1, y_1)$ の直線上の任意の点の位置ベクトルを $\vec{b} = (x, y)$ とする。 \vec{b} の \vec{a} 方向への正射影ベクトルの大きさは一定である。したがって、定義(3)から、内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ も一定である。その値を c とすると、直線の方程式は、 $\vec{a} \cdot \vec{b} = c$ から

$$x_1 x + y_1 y = c$$

で表される。



逆に、 \vec{a} 方向への正射影ベクトルが一定のベクトルの終点の軌跡は、 \vec{a} を法線とする直線であることが分かる。

これらのことは、3次元における法線ベクトルと平面の関係へと拡張できるが、現行の高校数学ではこのことは学ばない。

3. 円の接線の方程式

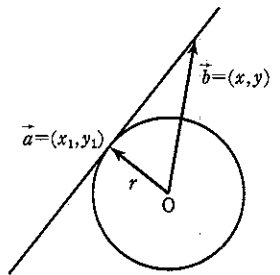
原点中心、半径 r の円の周上の点 (x_1, y_1) における接線の方程式を求めてみる。

$\vec{a} = (x_1, y_1)$ とし、接線上の点の位置ベクトルを $\vec{b} = (x, y)$ とおく。

$|\vec{a}|$ も、 \vec{b} の \vec{a} 方向への正射影ベクトルの大きさも、いずれも r なので $\vec{a} \cdot \vec{b} = r^2$ 。これを成分で表すと、接線の方程式

$$x_1 x + y_1 y = r^2$$

が得られる。



4. 点と直線との距離

点 (x_1, y_1) と直線 $ax + by + c = 0$ との距離 d を求めてみる。

直線の法線ベクトルを $\vec{a} = (a, b)$ とし、直線上の任意の点 (x, y) に対して $\vec{b} = (x - x_1, y - y_1)$ とおき、 \vec{a} と \vec{b} の始点を点 (x_1, y_1) にそろえておく。 \vec{b} の \vec{a} 方向への正射影ベクトルの大きさが d なので、

$$|\vec{a} \cdot \vec{b}| = |\vec{a}| d.$$

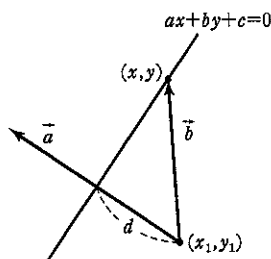
成分で考えて

$$|a(x - x_1) + b(y - y_1)| = \sqrt{a^2 + b^2} \cdot d.$$

これに $ax+by=-c$ を代入して整理すると、点と直線との距離の公式

$$d = \frac{|ax_1+by_1+c|}{\sqrt{a^2+b^2}}$$

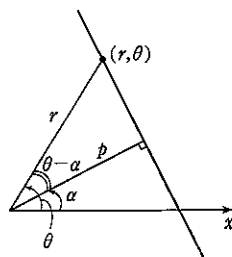
が得られる。



この正射影の考え方は、数学Cで極を通らない直線の極方程式が

$$r \cos(\theta - \alpha) = p \quad (p > 0)$$

で表されることを示すときにも用いられる。



正射影の考え方は、ベクトルによる図形の学び直しと、捉えたいと思う。

(明治学園高等学校)

5. おわりに

ベクトルの内積(1)において、 θ が変わっても一定なのは何か。それは、 \vec{b} の \vec{a} 方向への正射影ベクトルではないだろうか。

発行所 数研出版株式会社

東京本社 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-12-11

TEL 03(3265)0811 (代表)

関西本社 〒604-0867 京都市中京区烏丸丸太町西入ル

TEL 075(231)0161 (代表)

さいたま支局 〒336-0018 さいたま市南本町 1-16-9-4F

札幌支店 〒060-0052 札幌市中央区南 2 条東 2 丁目 9-8 大都ビル

TEL 011(261)1723

仙台支店 〒980-0022 仙台市青葉区五橋 2-7-9

TEL 022(215)6933

横浜支店 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-14-27 第一生命第 2 ビル

名古屋支店 〒461-0004 名古屋市東区葵 3-15-31 住友生命千種ビル

TEL 052(937)3423

広島支店 〒730-0813 広島市中区住吉町 9-9 中木ビル

TEL 082(243)6453

福岡支店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前 1-2-3 住友博多駅前ビル

TEL 092(411)4245

印刷 寿印刷株式会社

010801

♻️ 本書の中紙には再生紙を使用しています